

みずほCustomer Desk Report 2022/02/21 号 (As of 2022/02/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.96
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.86	1.1364	130.55	1.3614	0.7187
SYD-NY High	115.30	1.1377	131.10	1.3640	0.7228
SYD-NY Low	114.79	1.1314	130.21	1.3575	0.7165
NY 5:00 PM	115.00	1.1320	130.30	1.3598	0.7176

NY DOW	34,079.18	▲ 232.85	日本2年債	-0.0200	▲1.00bp
NASDAQ	13,548.07	▲ 168.65	日本10年債	0.2100	▲1.00bp
S&P	4,348.87	▲ 31.39	米国2年債	1.4675	▲0.18bp
日経平均	27,122.07	▲ 110.80	米国5年債	1.8180	▲2.77bp
TOPIX	1,924.31	▲ 6.93	米国10年債	1.9260	▲4.07bp
シカゴ日経先物	26,865.00	▲ 25.00	独10年債	0.2020	▲2.85bp
ロンドンFT	7,513.62	▲ 23.75	英10年債	1.3760	▲8.05bp
DAX	15,042.51	▲ 225.12	豪10年債	2.2370	▲0.20bp
ハンセン指数	24,327.71	▲ 465.06	USDJPY 1M Vol	7.10	▲0.09%
上海総合	3,490.76	22.72	USDJPY 3M Vol	7.03	▲0.05%
NY金	1,899.80	▲ 2.20	USDJPY 6M Vol	7.16	▲0.01%
WTI	90.21	0.17	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	263.621	▲0.05	EURJPY 3M Vol	8.65	0.15%
ドルインデックス	96.04	0.24	EURJPY 6M Vol	8.60	0.00%

東京	東京時間のドル円は114.86レベルでオープン。日経平均株価が大幅に下落して寄り付くとドル円は114.79まで下落。しかし実質五・十日のため仲値にかけてドル買いが入りドル円は小幅に上昇。その後「米財務長官、来週欧州でロシア外相との会談を提案」とのヘッドラインが伝わると、ドル円は115.28まで上昇。日経平均株価も下げ幅を縮小させる中、ドル円は底堅く推移し、結局115.18レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.18レベルでオープン。新規材料に欠けるなか小動きに終始。115.12レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は114円台後半でスタート。日経平均株価が一時400円超下落する中、一時114.79まで下落するも、実質五・十日で実需の買いが入ったことから下げ渋る。その後「ブリンケン米財務長官、来週欧州でロシア外相との会談を提案」との報道を受けてリスクオフムードが後退、円は売りで反応し115.28まで上昇。欧州時間では海外時間高値を115.30まで上昇する場面もあったが、115円台前半で方向感乏しい展開が続く、115.12レベルでNYオープン。海外時間ではウクライナ情勢を巡り安心感を誘う報道もあったが、朝方は一部報道で「ウクライナ東部のドンバス地方から女性や子供をロシア側に避難へ」などのヘッドラインが伝わり、地政学リスクの高まりが引き続き警戒される中、米株先物の上げ幅縮小とともに円が買われ、115.00近辺まで下落。一時114.98まで下落する場面もあったが、円買いと同時にリスクオフのドル買いも進んでいることからこの水準で下げ渋る。その後、FOMCメンバーのウラー氏、ウィリアムズ氏、ブレイナード氏等の発言が伝わるも、特段サプライズは見当たらず、ドル円の反応は限定的。終盤は3連休を控えていることもあり、115円ちょうど付近で小動きとなり、結局、115.00レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1360を挟んだ狭いレンジで取引され、1.1361レベルでNYオープン。朝方はリスクオフのドル買いが下押し圧力となる。「ECB当局者達が年内利上げにやや傾く」との報道が伝わるも、ウクライナ情勢への警戒感が台頭しているためか、市場は反応薄。海外時間安値(1.1347)を下抜けると売りが加速し、1.1314まで下落。一巡後、1.1330近辺で上値重く推移し、結局、1.1320レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月18日	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 1.7%/7.2%	1.1%/7.9%
2月19日	00:00	米 中古住宅販売件数	1月 6.50m	6.10m
	00:00	欧 消費者信頼感	2月 -8.8	-8.0
	00:45	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「金融緩和の大幅な調整必要」	
	00:45	米 ウォラーFRB理事 講演	「景気を過熱気味にすれば労働市場は一部改善」	
	01:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「労働市場は非常に強い」	
	03:30	米 ブレイナードFRB理事 講演	「3月の利上げ開始が適切」	

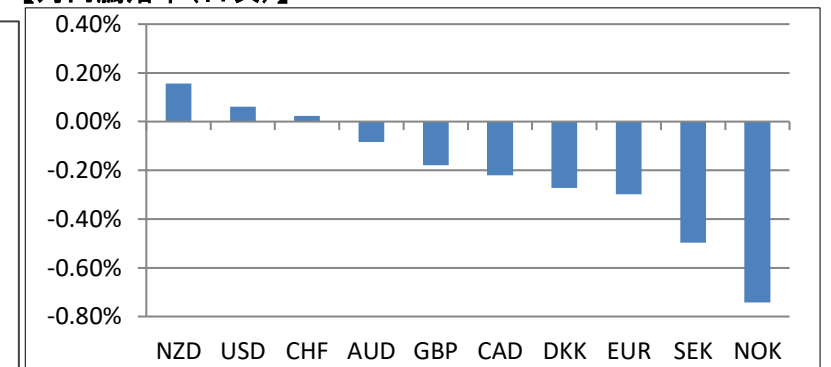
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月21日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 1.5%/24.4%	5.0%/24.2%
	17:30	独 マークイット製造業PMI・速報	2月 59.8	59.8
2月22日	01:15	米 ボウマンFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.40-115.40	1.1300-1.1400	129.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円はウクライナ情勢に関するヘッドラインに左右される展開に。「ブリンケン米財務長官、来週欧州でロシア外相との会談を提案」との報道を受けてリスクオフムードが後退する中、一時115.30まで上昇するも、「ウクライナ東部のドンバス地方から女性や子供をロシア側に避難へ」とのヘッドラインが伝わるとドル円は115.00付近まで下落。その後はFRB議長による発言も影響は限定的となり結局115.00でクローズ。本日のドル円もウクライナ情勢に左右され、上値重い展開を予想。地政学リスクの拡大によるリスクオフの流れが継続すれば円高方向へ大きく傾くリスクにも注意が必要となろう。また本日は米が大統領記念日で祝日となり、流動性の低下にも留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・木村